

E10 東九州自動車道 臼杵IC～津久見IC間の のり面災害に関する技術検討委員会 ～第2回技術検討委員会の結果について～

E10 東九州自動車道は、台風10号の大雨の影響により、8月29日(木)に切土のり面の崩落が発生し、臼杵インターチェンジ(IC)～津久見IC間で通行止めを継続しており、通行再開には期間を要する見込みです。

被災箇所の安全性の確認や復旧内容の検討のため、西日本高速道路株式会社は、有識者による「東九州自動車道 臼杵IC～津久見IC間のり面災害に関する技術検討委員会」を9月3日(火)に立ち上げ、検討を行っているところです。

9月15日(日)に開催した第2回技術検討委員会の結果について、以下のとおり、お知らせいたします。
この結果を踏まえ、今後、復旧作業にかかる工程を精査してまいります。

1. 日 時 令和6年9月15日(日) 18:00～19:50
2. 場 所 西日本高速道路(株)九州支社 会議室
3. 結果概要 別紙1のとおり
4. 委 員 別紙2のとおり

のり面災害に関する技術検討委員会

第2回の結果概要

1. 審議内容

- 現地にて地山の状況を確認し、復旧範囲及びのり面対策工を決定した。
- のり面対策工として、コンクリート吹付工及び切土補強土工(鉄筋挿入工)等を実施することを確認した。
- 今後ののり面監視に関するモニタリング内容及び降雨時における通行止め基準を確認した。
- 上記の施工完了後、モニタリングの実施及び降雨基準の運用をもって通行止めの解除を行うことを確認した。

2. 今後の予定

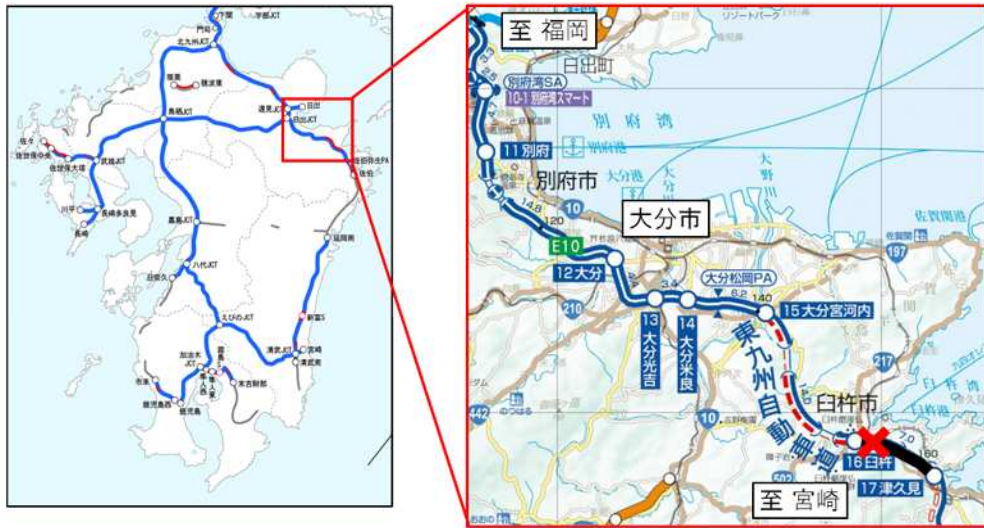
- 通行止め解除に向け、のり面復旧作業の施工状況について、第3回技術検討委員会にて確認を行う。

以上

E10 東九州自動車道 臼杵 IC～津久見 IC 間 切土のり面の崩落状況

E10 東九州自動車道

臼杵 IC～津久見 IC 間 切土のり面の崩落



— : 通行止め区間
 X : 被災箇所

【災害状況写真(現時点)】



【第2回 技術検討委員会 開催状況】



東九州自動車道 臼杵IC～津久見IC間のり面災害に関する技術検討委員会

笠間 清伸 九州大学大学院 工学研究院 教授

工藤 宗治 大分工業高等専門学校 都市・環境工学科 准教授

○ 三谷 泰浩 九州大学大学院 工学研究院 教授

三保木 悦幸 国土交通省 九州地方整備局 道路部長

(○ 委員長)
(50音順、敬称略)